

報道関係各位

2014年11月4日

全国建設業労働災害防止大会(厚労省・国交省後援) 工事現場の労働安全衛生に対する取組が表彰されました

大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:熊切直美)は、建設業災害防止協会が主催し、厚生労働省・国土交通省の後援により開催された「創立50周年記念 全国労働災害防止大会」において当社の労働安全衛生教育の関する取り組みが表彰されましたのでお知らせいたします。

■全国の建設会社、約4万9,000社の中から選出

全国建設業労働災害防止大会は、毎年全国の建設業の安全衛生担当者が一堂に会し、全国的な安全意識の高揚、最新の安全衛生情報の提供、効果的な安全衛生管理のノウハウの共有化を図る目的で開催されている大会です。本年は創立50周年の記念大会であり、当社は安全衛生教育部会にて「危険感受性を高める現場体験型研修会※」について発表し、表彰を受けました。この大会を通して、建設現場における更なる労災防止活動を推進して、全社一丸となって、安全管理に努めてまいります。



●9月25日に東京国際フォーラムで開催された大会での発表・表彰の様子

※「現場体験型研修」とは・・・

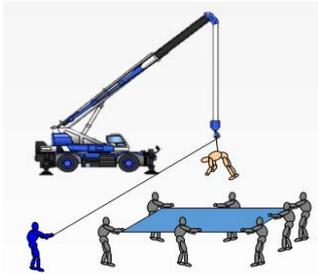
座学ではなく、自らが様々な体験をすることで、現場で活かせる実践力や危機意識を向上させることを狙いとしているのが特徴です。実際に体験することで、事故の怖さを再認識するきっかけとなり、参加した社員や職人さんの安全に対する意識も変わってきています。

●体験型研修の例

【人形墜落受け止め体験】

クレーンにて8m上空から水平ネットに人形を落下させ、8人前後で受け止める

協力会社従業員様コメント …たった10kgの人形とは思えないこの衝撃！成人男性が8人がかりでも受け止められないなんて。現場での危険を甘くみていたことを体験して実感しました。



【重機における死角体験】

一人は実際に重機の運転席に座り、他の人はポイントに立ち死角を確認する

協力会社従業員様コメント …想像以上に見えないんですね、重機が作業しているときには立入禁止をしっかりと明示して余裕ある作業区画の設置が重要ということがわかりました。



合言葉は「朝来た姿で家に帰る」 安全意識を高めて職場の危険ゼロに！



以上

<この件に関するお問い合わせ>

大東建託株式会社・経営企画室

TEL (03)6718-9068